

日本バチカン国交樹立75周年

バチカン図書館所蔵 切支丹関係文書群の 魅力を探る

—マレガ・プロジェクト研究報告—

2011年にバチカン図書館において再発見されたマレガ神父収集の切支丹関係文書群は、他に見られない質量といえます。人間文化研究機構・国文学研究資料館は内外の研究機関・研究者と連携して調査研究を進めてきました。日本バチカン国交樹立75周年を記念して、その進捗を広く伝えるための研究集会を開催します。

2017年7月1日(土)

13:00~17:00 (開場12:30)

国文学研究資料館2F大会議室

定員先着 150名

主催

人間文化研究機構、国文学研究資料館

共催

バチカン図書館、東京大学史料編纂所
大分県教育庁、イタリア東方学研究所

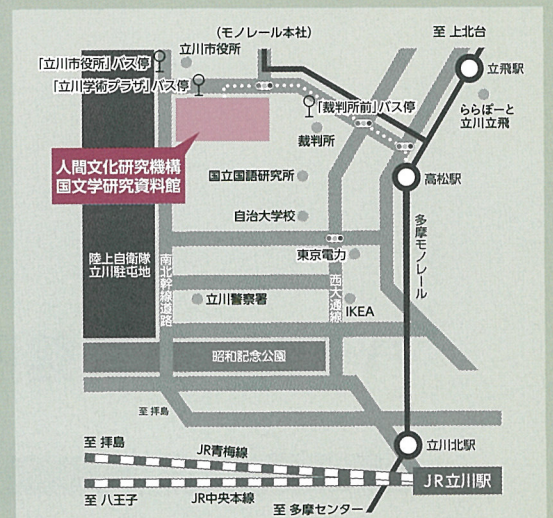
INFORMATION

東京都立川市緑町10-3 国文学研究資料館

「バチカン図書館所蔵マリオ・マレガ収集文書の保存と活用」(代表 大友一雄)

✉ ohtomo_team@yahoo.co.jp

🏠 <http://www.nijl.ac.jp/pages/research/marega.html>



PROGRAM 2017.7.1 (sat)

13:00-13:20

【開会挨拶】

人間文化研究機構長 立本成文
国文学研究資料館長 ロバート キャンベル

【来賓挨拶】

駐日ローマ法王庁特命全権大使 ジョセフ チェノットウ大司教

13:20-14:00

【第1部 マレガ・プロジェクトの紹介と進捗】

大友一雄（国文学研究資料館）
「プロジェクトの進捗とその可能性」

佐藤晃洋（大分県教育庁文化課）
「マレガ文書群の概要」

14:00-16:00

【第2部 マレガ文書の魅力を探る —マレガ神父・キリシタン統制・村社会—】

シルヴィオ ヴィータ（京都外国語大学）
「マリオ・マレガ神父のキリシタン研究を探る —地元の民間学と大正・昭和のキリシタン像を中心に—」

三野行徳（国文学研究資料館）
「臼杵藩宗門方役所とキリシタン統制」

大橋幸泰（早稲田大学）
「キリシタン類族改制度と村社会—臼杵藩の場合—」

16:00-17:00

【全体討論】

司会 太田尚宏（国文学研究資料館）
コメンテータ 岡美穂子（東京大学史料編纂所）

17:00

【閉会】

進行 清水有子（明治大学）



バチカン図書館所蔵切支丹関係文書群の魅力を探る
—マレガ・プロジェクト研究報告—